

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

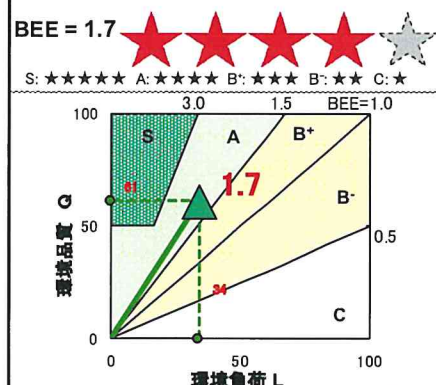
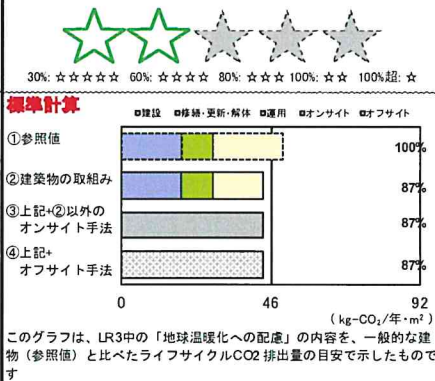
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)福岡高等技術専門校跡地有効活用	階数	地上14F
建設地	福岡県福岡市	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	460 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,集会所,集合住宅,等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年2月 予定	評価の実施日	2025年1月6日
敷地面積	3,300 m ²	作成者	佐藤信
建築面積	2,715 m ²	確認日	
延床面積	15,471 m ²	確認者	

外観パース等

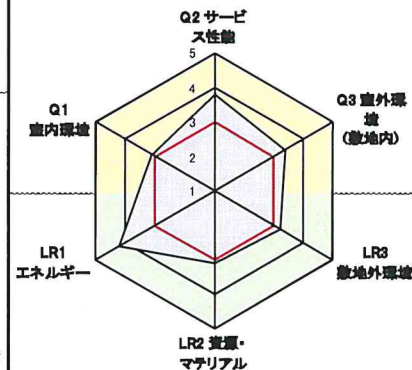
図を貼り付けるときは

シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

2-2 ライフサイクルCO₂削減影響チャート

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



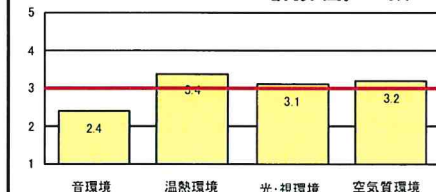
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 3.4

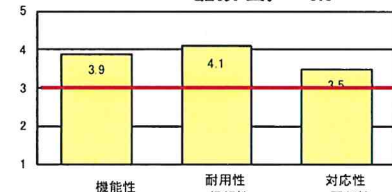
Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1



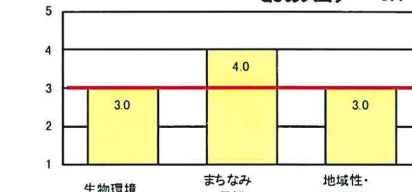
Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.8



Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.4

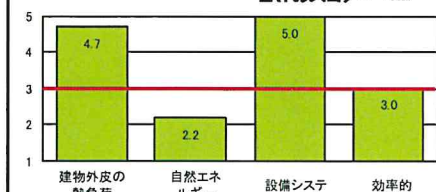


LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.6

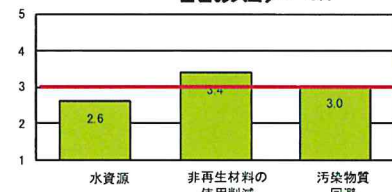
LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2



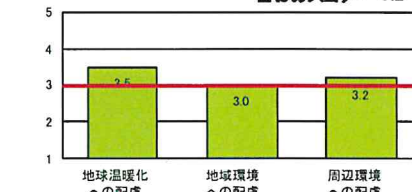
LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1



LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2



3 設計上の配慮事項

総合

その他

Q1 室内環境

Q2 サービス性能

Q3 室外環境(敷地内)

LR1 エネルギー

LR2 資源・マテリアル

LR3 敷地外環境

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい